

徒然なるままに…37

— 本当の「知恵」が持てる子どもを育てる —



平成27年8月25日
白鳥小学校 研修部

残念なことです。いよいよ夏休みが終わります。先生方にとっても、今年の夏は、激動と苦悩でいっぱいだったのではないのでしょうか。私は、例年、夏の一時期、完全にスイッチを切りますが、今年は、さすがに切る暇がなく、時だけが過ぎていった感があります。

さて、私は、その間を縫って、いくつかの研究大会に参加しました。その中で出会ったお二人の講師から学んだことをお話ししたいと思います。この会は、国語を中心に認識の仕方とものの見方考え方の研究を進めてこられた研究会です。会長は、御年95歳で参加されていました。直接社会科の授業研究につながらないかもしれませんが、自警の念を込めて書かせていただきましたので、よかったらお付き合いください。

お一人目は、元京都大学原子炉実験所の小出裕章先生です。小出先生は、原子力に夢を持って研究者を志し、長年、原子力・原発の研究に携われました。しかし、原子力を学ぶうちにその危険性を知り、考え方を改めて、「原子力は徹底的に危険で差別的。事故が起きれば古里を追われる。」と訴え続けてこられた方です。（代表的な著書として、『原発のウソ』扶桑社新書、2011年があります。）



小出先生は、燃料入手、熱効率性、経済的成本、廃棄物処理について示しながら、原子力の非効率性、将来性のなさ、危険性について、具体的に話されました。その上で、昭和30年代の原子力利用推進時に、科学者も為政者もこれらのことをすべて知っていたことを付け加えられました。まさに、「原発のウソ」です。

最後に、科学者として、「教育こそが知識と知恵を大切にしなければならない。」として、「本当の『知恵』」を持つ必要性を訴えられました。科学は、未知のことを知りたいという欲求を持ち、多くの知識を得続けます。しかし、人間に求められているのは、得た知識をどう使うか、あるいは、使わないように抑えるかを考え、わきまえる「見識」です。知識を認識させるとともに、それは、なぜ、そう言えるのか、何をもたらすか、どんな意味や価値があるのかを考え、判断できる力が本当の「知恵」ではないでしょうか。ただ、これを科学では示せません。したがって、重要な役割を果たすのが教育であり、我々教師ではないでしょうか。単に、事象や知識を示して「どう考えるか。」と問うばかりでなく、よりの確な見方考え方でものを見せ、考えさせ、より深い見識へと問い続けることが必要だと考えられます。

もうお一人は、絵本作家の長谷川義史先生です。長谷川先生は、『8月6日のこと』で、身の回りの「普通」を奪うことを、『おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん』で、戦争がその人の後ろにいる先祖たちとの命のつながりすべてを否



定することを、『へいわってすてきだね』で、一人一人の優しい心がすべての人たちに平和をもたらすことを伝えられました。その上で、長谷川先生は、「ただ絵を描くのではなく、何のために絵本をつくるのかという、したいこと、目指すことを持って取り組まないと、自分がした意味がない。」とおっしゃいました。

「キャリア教育」を中心に、今働くことに適応する子どもの育成が求められています。しかし、むやみに夢を持ったり、仕事をしたりするよう、一方的に促しても、子どもは、そうは動きません。自分にとって、その仕事にどんな意味があるのかを考え、したいことを見つけ、したいように展開する、言わば、「自己実現」できる子どもに育てることが必要なのではないのでしょうか。そうすることが、主体的な取組や生き方につながると考えられます。

このことは、私たち教師にも求められるのではないのでしょうか。絵本を通して、戦争によってもたらされることを示し、戦争の愚かさや平和の意味を発信することが長谷川さんの絵本作家でいる意味です。このように、私たち教師も自分たちの教育活動に、意図や意味を持って取り組む必要があるのではないのでしょうか。



私が初任の頃、先輩の先生に、「あなたは、何のために教師をしているのか。」と問われたことがあります。それは、教師として取り組む意図や意味、言い換えれば、人としてどう生きるかが問われているのだと、何年か経って、少しずつ分かってきました。ただ、しなければならぬからとか、教科書に載っているからとかいうだけで、安易に教育活動を展開してはいないのでしょうか。教師としての意図や意味を、教育活動全体を貫く柱として持つことによって、育てたい子ども像も授業論も「白島ぶらん」などの年

間の取組もぶれることなく、今必要な「ビジョン」が見えてくるのではないのでしょうか。とても難しいことですが、生きる意味を問い続ける人でありたいと、私は思います。



この夏、先生方も、いろいろなことを学んだり、経験したりされたのではないのでしょうか。学年やブロックなどで共有化し、明日からの教育活動に活かしていきたいと思います。